

2026年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任			
芸術	芸術総合	2	3年次	磯波 理恵・石川 潤			
使用教科書	なし		使用副教材	なし			
科目の目標				道徳教育のねらい			
美術・書道の融合した幅広い表現活動を通して、感性を一層豊かにし、生涯にわたり芸術を学び親しむための基礎を養う。				芸術を愛好し、美を探究する過程で、自然への感謝と生物に対する尊敬の念を持ち、他を思いやる心を育てる。			
学習活動内容		育てたい6つの力 (資質・能力)					
		1	2	3	4	5	6
		主体的学習	基礎力	思考・分析力	発信・表現力	自他認知・協働力	計画実行力
1	導入・オリエンテーション	○					○
2	大作制作	○	○	○	○	○	
3	墨絵	○	○	○	○		
4	ろうけつ染め	○	○	○	○		
5	七宝焼き	○	○	○	○		
6	篆刻	○	○	○	○		
7	展覧会鑑賞	○		○			
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に取り組む態度			
	芸術や芸術文化を幅広く理解し、創造的な表現に必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している	感性や想像力を働かせて主題を生成し、創造的な表現の構想を練っているか		芸術の文化を理解し、意欲的・主体的に授業に取り組んでいるか			
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。						
		授業での取組	作品	発表	鑑賞		
	主体的に取り組む態度	○		◎	○		
	思考・判断・表現	◎	◎	◎			
知識・技能	○	◎	○				

美術Ⅱ 授業計画

学習指導計画					実施状況	
月 (時 数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配 当 時 間)	単元 実施 時数	実施反省	
前 期	4月 (6)	パフォーマンス用作品制作(10)	・複数の画材を用いた技法の習得 ・展示技術の習得	・5月に開催されるパフォーマンス会場で展示する大型作品を作成する。 ・画材の研究を行う。 ・展示された会場の様子を考察し、どのような作品が求められているかを考察する。 ・墨を摺る。 ・墨を使って、線(グラデーション)を描く。 ・墨を使って、竹・葉・幹を描く。 ・墨を使って、桜を描く。 ・墨を使って、梅を描く。 ・墨を使って、菊を描く。 ・墨を使って、自由に描く。	12	
	5月 (8)	墨絵(10)	・墨絵の習得			
	6月 (7)	鑑賞(3)	・地元の美術館における鑑賞授業を行い、本物の美術作品に親しむ。 ・DVD等の教材を活用し、様々な映像作品に親しむ。	・函館美術館を訪問し、常設展や特別展を鑑賞する。その際学芸員の方より解説をいただき、作品についての知識をより深く学ぶ。 ・DVDによる映像作品を鑑賞し、様々な表現について学ぶ。	13	
	7月 (4)					
	8月 (3)	ろうけつ染め(10)	・生地に、溶かした蠟で文様(文字)を描く技法の習得	・溶かした蠟を筆などで布に塗り、模様を描く。 ・染料にてその布を染色し、蠟を落として水洗いする。 ・複数の染色のためにはこの工程を繰り返す。 ・蠟を乾燥ひび割れを入れることによって、独特の亀裂模様を作り出す。	10	
後 期	10月 (8)	七宝焼き(10)	・伝統工芸技法の取得	・素地作り・・・ベースとなる金属(銅・銀など)を成形する。 ・絵付けと線付け・・・墨などを使って素地に模様のあたりをつけ、有線七宝の場合は素地に銀などを使って釉薬を入れるための輪郭線を施す。 ・釉薬を入れる・・・粒子状に砕いた彩色ガラスを水や糊などに溶き図案や銀線に施す。 ・焼成 800～900度程度の炉に入れて焼成する。技法によっては数回焼成を繰り返すこともある。 ・研磨・・・ダイヤモンドペーパーやヤスリなどを使って目に見えないレベルの細かい傷をつけることによって艶のある表面に仕上げる。	10	
	11月 (9)					
	12月 (6)					
	1月 (2)	篆刻(10)	・書と彫刻が結合した工芸美術の習得	・印材に刻む文字やデザインを決定する。 ・印面を印材に転写する。 ・印面を彫刻刀で彫る。 ・彫刻した印面を仕上げる。	10	
		鑑賞(5)	・地元の美術館における鑑賞授業を行い、本物の美術作品に親しむ。 ・DVD等の教材を活用し、様々な映像作品に親しむ。	・函館美術館を訪問し、常設展や特別展を鑑賞する。その際学芸員の方より解説をいただき、作品についての知識をより深く学ぶ。 ・DVDによる映像作品を鑑賞し、様々な表現について学ぶ。	5	